

# ビオトープだより第41号

会員・BAよりビオトープに関する情報を提供します。



特定非営利活動法人  
日本ビオトープ協会

<https://www.biotope.gr.jp/>

## 1. 内海千樫氏写真展「キツツキの世界」

相談役・主席BA 野澤 日出夫



会員 内海千樫氏動物シリーズ写真展

「キツツキの世界」旭川に行って来ました・・・！！

4月22日(月)～29日(月・祝)

フィール旭川5F ギャラリー・ジュンク

去る4月24日～25日、ギャラリー訪問、MLでお知らせしていた会員内海千樫氏(幌加内ビオトープ協会)の写真展を視察してきました。

札幌は桜が満開、旭川に向かう道央自動車道ではコブシの白が北国の春を主張していました。

ギャラリー・ジュンクのあるこのビルは、以前全てが本屋さん(丸善・ジュンク堂)でしたが、現在5Fのジュンク堂書店のみに縮小となっています。

今回は昨年出版された「キツツキの世界」の出版記念として写真展開催、27日(土)・28日(日)は、スライド映写と講演をする準備も進めておられました。

長年にわたり撮りためたキツツキの生態写真の中からその一部の展示との事でしたが、アカゲラのつがいが並んだ写真と交尾の写真はほんの一瞬のシャッターチャンスをつかえたものです。

北海道開拓の村(札幌市厚別)



フィール旭川・平和買い物公園



内海さんとギャラリー・ジュンクの展示状況



単独行動をとるアカゲラの雄雌が殆ど同時に同じ枝にとまり一瞬で交尾する。このシャッターチャンスは殆どない。



巣の乗っ取りを計るニューナイスズメ

カラスサイズのクマガラ子育て

キツツキの巣は他の鳥類に利用される事が多く、この写真はコゲラの巣を乗っ取るようにするニューナイスズメ。キツツキ類の巣は直接素掘りの穴の中に卵を産むが、ニューナイスズメは巣材を運び込み産卵する。その巣材をコゲラは外に捨てると、スズメは巣材を運び込むと言う争いが続き、キツツキは根負けして巣を引き渡すことになるという。アカゲラとムクドリの争奪戦も同様アカゲラが諦めることになる。

写真展の来場者は多くはないが、生き物の生態に興味ある人が熱心に見学していました。

内海さんによると、一般の人たちは最近生き物への興味が、猫や犬のペット写真は受けが良い、野生動物ではシマエナガやシマフクロウなど、特定なものにしか興味を持たれず、極めて貴重な内海さん発刊の写真集「キツツキの世界」は売り上げが伸びず苦戦中とのこと、会員の皆さまには是非手元において欲しいと願っています。

この売り上げをもって次回は「エゾリス」の生態写真集発刊を目指されています。

「キツツキの世界」共同文化社 2,800円 + 税 + 送料

「蒼鷺・アオサギ」共同文化社 2,500円 + 税 + 送料

ご購入は下記へご連絡ください。

〒074-0413 北海道雨竜郡幌加内町雨煙内 内海 千櫻 様 宛

: 080-6087-1297

Mail: [herons@choc.ocn.ne.jp](mailto:herons@choc.ocn.ne.jp) [herons@a011.broad.jp](mailto:herons@a011.broad.jp) (携帯)